

令和元年度第3回印西市学校適正配置審議会 会議録

- 1 開催日時 令和2年3月16日(月)午前10時～11時25分
- 2 開催場所 印西市役所4階 41会議室
- 3 出席者 桜井 繁光 委員、内田 圭子 委員、井上 愛一郎 委員、
後藤 譲 委員、石井 秀昭 委員、坂木 武伸 委員
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 大木教育長、伊藤教育部長、土屋教育総務課長、渡邊学務課長、
加藤副参事、秋山係長、小森谷主査
- 6 傍聴者 3名
- 7 議事 (1) 印西市学校適正規模・適正配置基本方針における小規模校(過小以外)について
(2) その他
- 8 議事録 (要点筆記)

事務局 本日はご多用のところ、当審議会の会議にお集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。

会議に先立ちまして、何点かご説明とご報告をさせていただきます。

まず、配付資料の確認をさせていただきます。

配付資料といたしまして、会議次第、印西市学校適正規模・適正配置基本方針における小規模校(過小以外)についてと書かれた資料が1部、本埜中学校の会議内容のお知らせについての回覧資料が1部、船穂小学校の意見交換会の開催結果についての資料が1部となっておりますが、不足はございませんでしょうか。

<不足なし>

事務局 続きまして、会議の公開と傍聴規定についてでございます。

当審議会につきましては、印西市市民参加条例第11条第4項の規定により、原則公開とさせていただきます。

また、傍聴につきましては、同条例施行規則第12条第3項の規定に基づき、事務局の方で傍聴要領を作成しており、この傍聴要領に沿って受付しておりますことをご報告いたします。

なお、現時点での傍聴者は2名でございますが、会議途中で傍聴の希望があった場合は、随時、入室を許可したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

続きまして、会議の録音及び会議録の署名についてでございます。

当審議会の会議につきましては、会議録を作成する都合上、録音させていただきます。

きます。

また、会議録の署名につきましては、毎回2名の委員の方をお願いしておりますが、本日は、坂木委員と桜井委員をお願いいたします。

なお、会議録につきましては、ご署名いただいた後、市役所の行政資料室への設置やホームページへの掲載により公表いたします。

会議録の公表にあたりましては、発言者の氏名を伏して行いますことを申し添えます。

それでは只今より、令和元年度第3回印西市学校適正配置審議会を開催いたします。

はじめに、会議の開催についてご説明とご報告をさせていただきます。

印西市学校適正配置審議会設置条例第7条第2項において、審議会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができないと規定されております。

本日の出席委員は、6名中6名でございます。同条例の規定に基づく定足数に達しておりますことから、ここに会議が成立いたしますことをご報告させていただきます。

それでは、会議次第に従い、会議を進めてまいります。

はじめに、次第の2教育長あいさつ、大木教育長よりご挨拶申し上げます。

教育長 おはようございます。

令和元年度第3回印西市学校適正配置審議会ということで、大変お忙しいところ、お集まりいただき、誠にありがとうございます。

第2回が6月26日ということで、随分時間は経っておりますが、年度内にもう1回開催させていただいて、今後のことについて、お話をさせていただければと思います。

ご承知のように今日本全国が新型コロナウイルス感染症によりまして、多くの学校が休校となっております。

印西市の小中学校は、3月2日から休校ということになっておりまして、学校行事のほとんどが中止となっております。

その中で、3月12日に市内中学校の卒業式を挙行させていただきました。

また、今週の18日に市内小学校の卒業式を縮小した形で挙行させていただきます。

その後休校になりまして、今年度の最後の学校行事として、3月24日に修了式を実施することとなっております。

4月以降については、まだ政府の見解等も出ておりませんので、どうなるかわかりませんが、何とか4月から平常の学校行事活動が出来ればと考えているところでございます。

さて、前回の会議で、本埜中学校の学校適正配置シミュレーションについて

ご審議をいただきました。

その結果を踏まえまして、最終的に教育委員会において本塾中学校の学校適正配置シミュレーションの変更について決定をしたところでございます。

また、後ほどご報告をさせていただきますが、現在は、決定した本塾中学校の学校適正配置シミュレーションについて、保護者の皆様と意見交換を行っているところでございます。

本日は、小規模校の過小以外の該当校の現状等をご説明させていただき、今後のことについて、皆様から忌憚のないご意見等を頂戴したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。

続きまして、次第の3、会長あいさつ、井上会長よりご挨拶をいただきたいと思っております。

会長 先ほど教育長からありましたように、大学もコロナウイルスの影響を非常に受けておまして、3月中は卒業式が中止、謝恩会も中止、また、3月に予定していた学生募集のためのオープンキャンパスも中止でございます。

授業については、2月中に終わっており、影響はありませんでしたが、節目の行事については大きな影響を受けたという状況でございます。

4月以降については、入学式は、通常、全ての学部同じ時間でやっていたのですが、それを学部学科ごとに分散し縮小して実施することとしております。

また、本学の場合、入学式が終わった後に、オリエンテーション、合宿というのがあるのですが、それについては中止ということでございます。

年度明けて通常のスタートをしたいところですが、なかなかそれもできない状況で、早く収束することを願っているところでございます。

それでは、今日は第3回目ということで、市内の小規模校の過小以外について、今後どのようにしていくかということについて、ご審議していただくということが今日の一番の大きなテーマとなっておりますので、委員の皆様からご意見をいただき、方向性について考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。

それでは早速、議事に入りたいと思っております。

ここから先の進行につきましては、井上会長にお願いいたします。

議長 それでは、次第の4、議事に入らせていただきます。

(1) 印西市学校適正規模・適正配置基本方針における小規模校（過小以外）

についてを議題といたします。

事務局より説明をお願いします。

事務局 【資料に基づき説明】

議長 それでは、これから委員の皆様からご質問、ご意見をいただきたいと思います。

5校の小規模校について、今後適正配置審議会としてどういう方向性を持って考えていったらいいのかという点も含めてご意見をいただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

委員 一つは平賀小学校の来年度の1年生は8人ということですが、男女の内訳がわかれば教えてください。

2点目は、平賀小学校と小林北小学校と大森小学校が令和2年度と令和7年度で、30から40名位減少しておりますが、その理由があれば教えてください。

事務局 平賀小学校の来年度の1年生の男女の内訳ですが、女の子が6人、男の子が2人となっております。

また、児童数の減少につきましては、住民基本台帳ベースで推計をしており、その人数の減少に伴い、児童数が減少していくと考えております。

なお、こちらの人数については、今後の転出入や学区外就学の状況を考慮しておりませんので、ご了承いただきたいと思います。

委員 わかりました。

議長 その他ございますか。

委員 船穂小学校は今過小になっていて、令和7年度には過小以外になっており、児童が増えるのかと思いますが、船穂小学校の意見交換会の資料に令和6年度の児童数が43人になっており、数字だけを見ると現状と大きく変わらないので、過小のままのように思えますが、いかがですか。

2点目ですが、小林小学校が基本方針策定時は小規模校となっております、現状と令和7年度はそこから消えておりますが、児童数が増えるということなのでしょう。

それから、資料では全体が見えないのですが、今後の全体の児童数の推移がわかれば教えてほしいです。

それから、大きな学校と小さな学校の格差が今後どう変化していくのか知りたいです。

それから、六合小学校と平賀小学校の今後を考えるに当たり、いには野小学校の今後の児童数の推移を教えてください。

また、印旛地区全体の小学校、中学校の児童生徒数が知りたいです。

事務局 まず、船穂小学校については、今後大きく児童数が増えていく状況ではありませんが、学年ごとの人数のバランスで令和6年度から複式学級が解消されるという推計になっております。

委員 先ほど説明にもありましたが、この人数は学区外就学が考慮されていないということです。学区外就学を考慮すると、過小のままという可能性もあると思いますが、いかがですか。

事務局 この推計では学区外就学を考慮しておりませんので、このようになっているところがございます。

次に、2点目以降の児童数の推移については、第1回の会議資料でお配りした資料4に記載しておりますので、追加資料として配付をさせていただきたいと思っております。

【追加資料の配付】

事務局 それでは、今配付した資料をご覧ください。

小林小学校が小規模校ではなくなるということについてですが、小林小学校区については、開発地区もあり、少しずつ児童数が増えていくのではないかと考えております。

次に、3点目の市内全体の児童生徒数についてでございますが、令和元年度の児童生徒数は小学校で6,402人、中学校で2,591人となっており、令和7年度には小学校で6,849人、中学校で3,409人ということで、小学校、中学校とも、児童生徒数が増加傾向にあるところでございます。

次に、4点目の大規模校と小規模校の格差についてでございますが、ほぼ現状と同様に推移していくと考えております。

また、現在、牧の原地区で急速な開発がされており、それに伴う児童生徒数の増加が予想されると考えているところでございます。

最後に、印旛地区の小、中学校の児童生徒数の推移については、資料に記載のとおりでございます。

委員 わかりました。

議長 その他ございますか。

 審議会では、事務局から説明のありました小規模校5校について、今後、統廃合に向けてシミュレーション等の検討を行っていくのか、それとも児童数の推移を注視していくのか、その辺の方向性について皆様からご意見をいただき、ある程度の方向性を出していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

委員 それぞれの5校の児童数の推移を見ていきますと、小林北小学校、大森小学校につきましては、令和7年度で100名を超える学校であり、六合小学校と本埜小学校については、ほぼ現状維持で推移しておりますが、その中で平賀小学校が令和2年度の99人から令和7年度に71人に減少しており、色々な状況でその減少が加速することも考えられるため、平賀小学校については、シミュレーションを検討していく必要があるのかなと思ひます。

 また、人数でみると六合小学校と本埜小学校についても、どこかの時期でシミュレーションを検討していく必要があると思ひますが、あまり遅いと急激な統合ということになってしまいますし、早い時期にシミュレーションを示すと、それを示したことによる児童数の減少の加速が考えられるため、どの時期でシミュレーションを作成し、公にするかが非常に難しいところであると思ひます。

議長 ありがとうございます。

 他にございますか。

委員 参考になるのが、すでにやられている意見交換会やアンケートでの意見だと思ひますが、それを見てもみますと、100年くらい続いている伝統校が統合される方向にあり、そういった学校がなくなってしまうと地域全体が活性化されなくなるといったご意見や通学距離が長くなるのを気にしている方が多いなど参考になることがあると思ひます。

 本埜中学校も船穂小学校も同じような意見が出ており、私も同じ立場であれば、同様のことを言うと思ひますし、保護者の意見が良くわかる気がしますので、統合に向けてこういうことを想定されているとは思ひますが、よく考えながら進めた方が良くと思ひます。

議長 ありがとうございます。

 この審議会では議論を進めていく上で、この意見交換会等のご意見を参考にしながら検討を進めていければと思ひます。

 今日の次第では、この後、本埜中学校と船穂小学校の意見交換会等について説明していただく予定ですが、ここで説明していただいてもよろしいでしょうか。

事務局 わかりました。

【資料に基づき説明】

議長 それでは、委員の皆様からご質問等がございますか。

委員 本桙中学校のアンケート調査結果で小学生は賛成が70%となっておりますが、意見の欄には賛成の意見がほとんど記載されておりませんが、賛成意見はなかったのでしょうか。

もしあれば、その意見が今後の検討を進めていく上で、参考となると思います。

事務局 アンケート調査結果を基に意見交換会を実施しましたが、当日は、賛成の立場からのご意見があまりなかったという状況でございます。

議長 その他ございますか。

委員 通学距離が8キロ位になるという意見がありますが、本当にそういう人はいるのですか。

事務局 実際に測定等はしておりませんが、和地区という地区からは直線距離ではないので、通学距離がその位になってしまう可能性はあります。

議長 遠距離通学者への対応について、何か考えていることはありますか。

事務局 議会でもそういった質問が出ておまして、児童生徒の安全というのを最優先に考えなくてはいけませんので、まだ具体的なものはありませんが、スクールバス等について検討をしていこうと考えております。

委員 通学路を整備してくれれば賛成という意見もありますので、教育委員会だけではできないと思いますが、市全体でその辺も考えていければいいのではないかと思います。

議長 その他ございますか。

委員 今の意見に関連しますが、学校を見てみると市長部局との関わりが多いので、統廃合を考えるに当たり、市長部局と足並みをそろえてほしいと思います。

事務局 通学路の整備等について、市長部局と話し合いをしていきたいと思います。

議長 本埜中学校と船穂小学校の意見交換会等について、その他何かございますか。

<意見等なし>

議長 それでは、元に戻りまして、先ほどの小規模校の今後の方向性等について、ご意見等ございますか。

先ほど平賀小学校のシミュレーションを作った方が良いのではないかというご意見がありましたが、今すぐということではよろしいのでしょうか。

委員 平賀小学校は、今すぐなのかわかりませんが、シミュレーションは必要であると思います。

また、六合小学校、本埜小学校についても、いずれシミュレーションは必要であると思いますが、それを一緒に考えるのか、平賀小学校だけが先なのかというイメージです。

議長 この場ですぐにやろうということではないということですか。

委員 はい。

議長 その他ございますか。

委員 保護者のご意見の中に、わかるご意見とこれはどうなのかなというご意見がありますが、保護者も教育委員会も子供達のより良い環境のためにという思いは同じであるのに、方向性が一緒になっていかないという原因を探っていく必要があるのかなと思います。

また、先ほど質問しましたが、今のいには野小は450人いて、令和7年度には印旛地区の小学校を全て合わせて450人しかいなくなりますが、差し迫っていないため、そのままにしておこうという感じになると思います。

統廃合については、そんなことはないのですが、みんなが頑張ろうという感じになりにくいシステムになっている感じがします。

アンケートでは、7割の保護者が賛成となっているので、アンケートの内容をもう少し踏み込んだ方が説得の材料を得やすいと思います。

ご理解いただくために意見交換会等を何度も繰り返し行っていくことも良いと思いますが、市全体的にこうなっているんだという気持ちが生まれてくれば良いと思います。

意見としては、個別だと自分だけ被害者という感じになってしまうので、小規模校の過小以外の学校全ての地域代表や学校の代表者に来ていただいて、市全体でこのように進めるんだという話し合いの場があった方が良いと思います。

議長 ありがとうございます。
 小規模校5校については、緊急性はないという考えでよろしかったでしょうか。

委員 はい。

議長 その他ございますか。

委員 自分の子供が女子1人で、あと全部男子の中で6年生まで上がっていくという
ような少数意見というのはなかなか吸い上げられず、また、賛成側の人というの
はあまり大きな声をあげないということがこのアンケート結果でも出ているので、
統合後の様子などをアピールしていく必要があると思います。
 小規模校5校については、非常に難しい問題ではありますが、平賀小学校、六合
小学校、本埜小学校については、必要であれば見直していかなければいけない
時期がくるのではないかなと思います。

議長 ありがとうございます。
 その他ございますか。

委員 私も今の意見にあったように既に統合している永治小学校などが参考になると
思いますので、そういうことを情報発信していった方が良いと思います。
 先ほどもお話ししましたが、保護者の意見で通学路や通学距離がネックになっ
ている部分があるので、その辺を考慮しながら、進めていくのも必要なと思
います。
 特に、平賀小学校については、ある時期には検討しなくてはいけないと思うの
で、今までの例を踏まえて、保護者の不安を解消しながら進めていく必要がある
と思います。

議長 ありがとうございます。
 その他ございますか。

委員 永治小学校の子供達が木刈小学校に通い、寂しいけれど、新しい小学校で頑張
れたということをたくさん聞きます。
 今まで小さな学校でやっていたことを大きな学校でもできるということが大き

な経験になったということも聞きます。

先ほど他の委員からもありましたが、良い面をわかってもらうことも大切ではないかなと思います。

学校は、ある程度の人数がいた方がより集団的な力がつけられると思うため、平賀小学校の方向性の一つとして、統合という方向性もありではないかなという視点で検討していくのが大切であると思います。

議長 ありがとうございます。
その他ございますか。

<意見等なし>

議長 小規模校5校についての方向性について、委員の皆様からご意見をいただきましたが、今日の審議会の方向性としては、特に今すぐというご意見はございませんでしたので、緊急性はないと判断しまして、今後の児童数の推移を注視していくという形にさせていただいて、ただし、六合小学校、平賀小学校、本埜小学校については、どこかの時点でシミュレーションの検討を行っていく必要があるという形でまとめさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

<異議なし>

議長 それでは、決定させていただきます。
続きまして、議題の（２）その他ですが、事務局から何かございますか。

事務局 特にございません。

議長 本日の議題につきましては、全て終了しました。
進行を事務局にお返しいたします。

事務局 ありがとうございます。
続きまして、次第の5、その他に入らせていただきます。
事務局から、連絡事項がございますので、よろしくお願いします。

<次回の会議日程及び委員報酬について説明>

事務局 事務局からの連絡事項は以上でございます。
その他ということで、委員の皆様からは何かございますか。

<なし>

事務局　それでは、以上をもちまして、令和元年度第3回印西市学校適正配置審議会を終了させていただきます。

長時間にわたり、ありがとうございました。

会議資料

- ・ 会議次第
- ・ 資料　印西市学校適正規模・適正配置基本方針における小規模校（過小以外）について
- ・ 本埜中学校の学校適正配置シミュレーションに係る説明会及び今後の対応等に係る意見交換会について（会議内容のお知らせ）
- ・ 船穂小学校の今後の対応等に係る意見交換会の開催結果について（お知らせ）
- ・ 追加資料　印西市立小・中学校の児童生徒数及び学級数の現状と推移（令和元年5月1日現在）（第1回印西市学校適正配置審議会資料「資料4」）

令和元年度第3回印西市学校適正配置審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和2年3月31日

委　員　坂木　武伸

委　員　桜井　繁光